



公民館運営審議会委員 高橋 靖和
(昭島市自治会連合会)

私は、昭島市自治会連合会より公民館運営審議会に参加して3期目となりました。

審議会に参加してから、まさか公民館が休館になるという事に2度も直面するとは、夢にも思いませんでした。初めは、コロナウイルス感染症に見舞われ休館。そして今回は、空調の修繕工事の為休館。世の中うまい事感染症で騒ぎになっている時に工事があれば良かったのと思ってしまいます。今回休館は想定外の出来事です。工事は空調工事のみとの事で、将来的には、建物自体の改修工事等が発生し、また休館になってしまうのか少し心配です。

今の時代は、オンライン全盛の世の中になっています。時代は常に新しくなっていくもので、オンラインというものも時代の流れなのでしょう。オンラインの全てを否定する訳ではありませんが、うまく折り合いを付けて活用していかなければいけないと思います。

私の携わっている自治会もそうですが、意外とオフラインな組織となっています。人と人が直接関わる事が重要と感じています。人と人の絆は、顔と顔の見える公民館事業に於いても、人との繋がりが重要ではないでしょうか。人が集まり笑顔溢れる公民館であって欲しいと思います。

自治会連合会でも、公民館の実習室をお借りして「おいしい防災」という料理教室を開催しました。災害に備えて各ご家庭に於いて備蓄の必要性を伝える教室です。ローリングストックの勧めを訴えています。タイトルに防災と謳っていると「災害時に活用するのですか」と聞かれますが、平和な時においしく調理しておいしく頂く料理教室です。工事の関係で、2年程他所で開催していましたが、次年度はまた、会場を公民館に戻したいと思います。なんだかんだ言っても人の集える公民館は重要だと思います。

公民館も、自治会も抱えている問題は似ていますが、お互い楽しい会にしましょう。

公民館運営審議会活動報告

公民館運営審議会は公民館が行う各種事業を調査・審議することを目的に、毎月1回開催しています。1月と2月の主な内容をお知らせします。

◇1月8日(木)

定例となっている“ひとことタイム”で各委員のそれぞれが身近な体験や日々感じたり考えたりした事、新年を迎えての思いなどを語り、ウォーミングアップしながら、答申作成に向けて、公民館で過去に実施したデジタル関連の講座について学習し、デジタル化に関する意見交換を行い理解を深めました。

◇2月12日(木)

デジタル化に関連した他市の公民館活動の事例を学ぶため、学習会「デジタルを活用した公民館活動について～東大和市篇～」と題して、HPで東大和市の魅力を紹介するサイトの運営やスマホ相談会を独自で実施されたり等、幅広く地域に根差して活躍されている方にお話を伺いました。

退職後に公民館で出会った講座から誕生し、仲間を増やしながら現在までの活動の経緯を詳しく教えていただき、デジタルとの関わり方や地域の活動としても魅力的なお話を伺うことができました。

公民館利用者連絡会 けいじばん

かるがもカフェ(利用者交流懇談会)
「どこでも公民館」第2回 報告

2月14日(土)の午後、都営松原1丁目第3アパート集会所で行いました。

30席ほど椅子を並べられる部屋で、台所にある流し台とガス台もお借りしました。2つのサークルの発表があり、ティータイムにはお汁粉を用意。交流の時間も公利連発行の「公民館トリセツ」を説明したり、クイズあり。アットホームな交流懇談会になりました。

【総会の案内】

4月4日(土) 午後2時～2時30分
場所: アキシマエンスシ校舎棟3階 音楽室
第3回「どこでも公民館」&かるがもカフェ(利用者交流懇談会)
総会終了後 午後2時30分～4時30分

総会では、2026年度の活動予定を提案します。はやいもので、来年は公民館開館45周年です。新たな公民館利用者を増やし、次の50周年につなげられるような企画を考えたいものです。